

但馬の経済指標

令和5年10月～12月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より11.2ポイント増加し、6.0となった。

②有効求人倍率は、12月期1.69倍。前年同月と比べて0.07ポイント増加した。

		項 目	今期(10月～12月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫	+ 6.0	+ 11.2	+ 18.0
2	雇用		12月	対前月(増減)	対前年同月(増減)
		有効求人倍率	1.69	0.0	+ 0.07
			12月	前月比(%)	前年同月比(%)
		有効求人数(人)	4,331	△ 3.00	△ 3.91
		有効求職者数(人)	2,562	△ 2.95	△ 7.64
		雇用保険受給者実人員(人)	414	△ 6.12	△ 10.39
3	金融		12月	前月比(%)	前年同月比(%)
		普通貸付残高(百万円)	12,682	△ 0.74	△ 8.12
			12月	前月比(%)	前年同月比(%)
		信用保証承諾額(百万円)	1,336	+ 24.86	+ 16.17
		信用保証債務残高(百万円)	58,365	△ 0.09	△ 3.54
4	公共工事		12月	前月比(%)	前年同月比(%)
		公共工事請負金額(百万円)	1,751	△ 57.83	+ 13.19
参考	企業倒産(全県)		今期(10～12月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
		件数	158	+ 33	+ 63
		負債総額(百万円)	11,143	△ 580,544	△ 2,086
5	地場産業	豊岡かぼん		売上高、生産量、収益とも変わらず。	売上高、生産量、収益とも変わらず。

1 業況判断

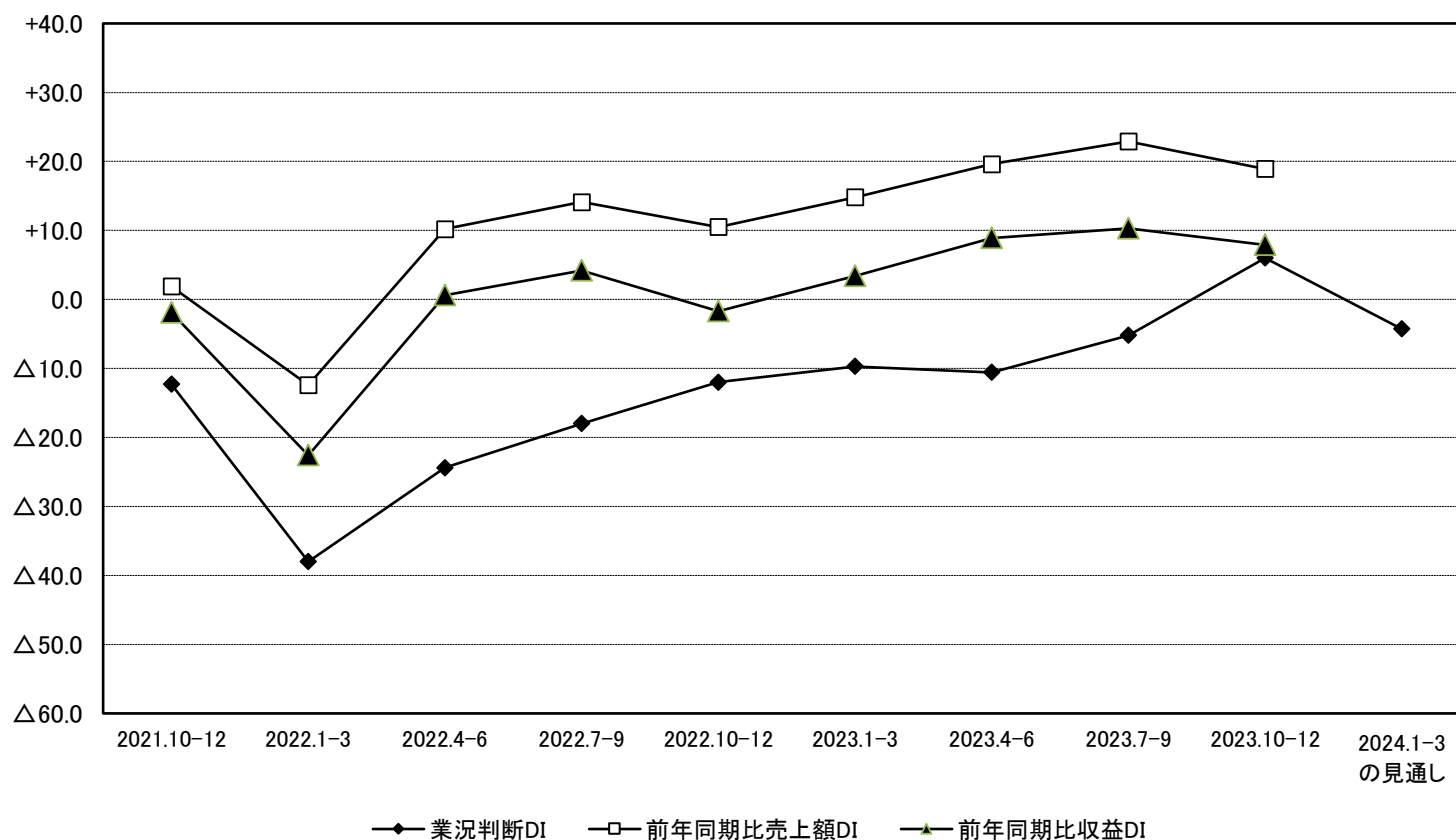
但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より11.2ポイント増加し、6.0となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが-4.3となる見通しである。

前年同期と比較した売上額DIは18.9、同収益DIは7.9となった。

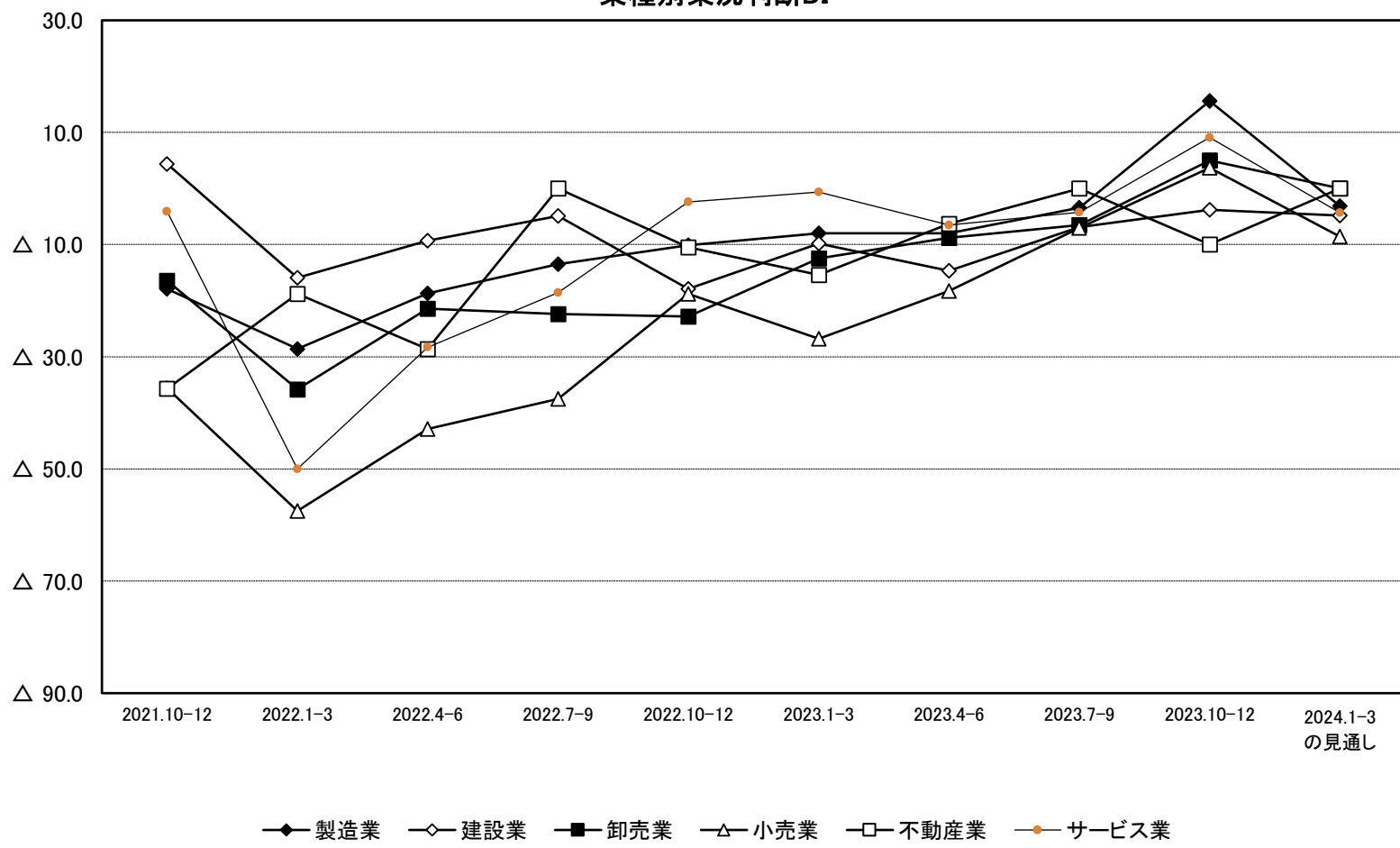
業況判断DIの推移



	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 の見通し
業況判断DI	△12.3	△38.0	△24.4	△18.0	△12.0	△9.7	△10.6	△5.2	+6.0	△4.3
前年同期比売上額DI	+1.9	△12.4	+10.2	+14.1	+10.5	+14.8	+19.6	+22.9	+18.9	-
前年同期比収益DI	△1.9	△22.6	+0.6	+4.2	△1.7	+3.4	+8.9	+10.3	+7.9	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

業種別業況判断DI

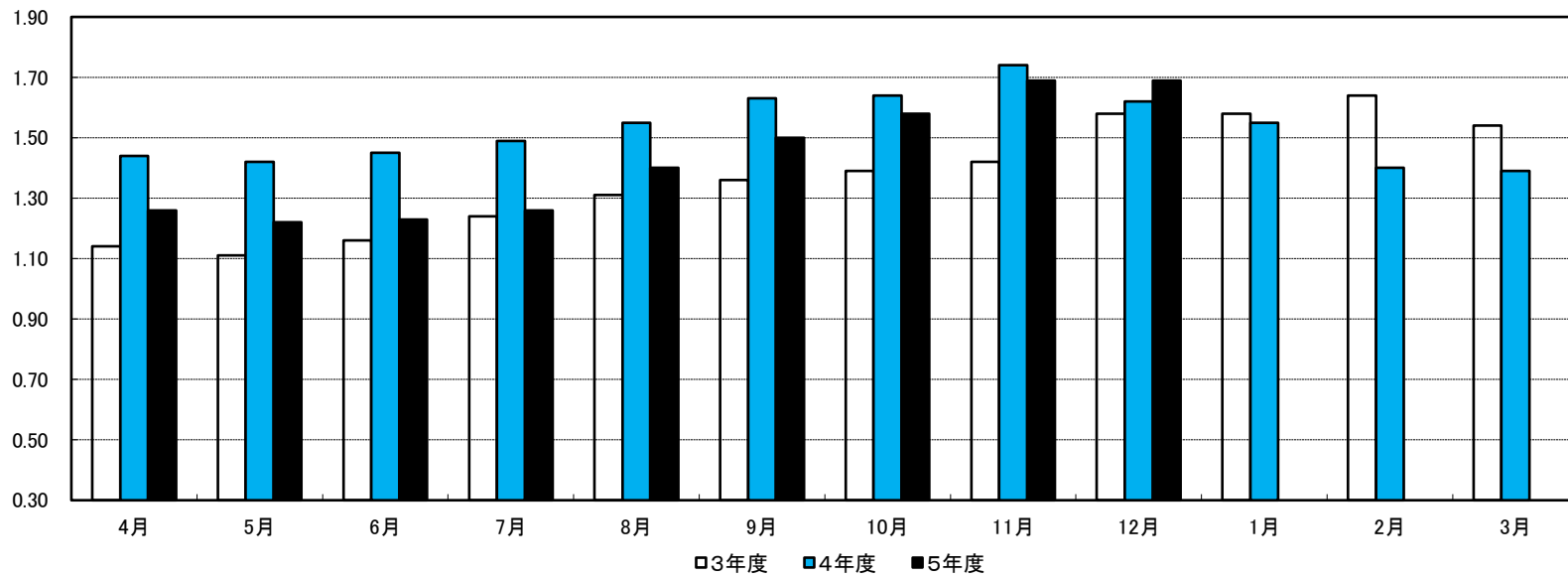


	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 の見通し
製造業	△ 17.9	△ 28.6	△ 18.7	△ 13.5	△ 10.1	△ 8.0	△ 8.0	△ 3.4	15.6	△ 3.1
建設業	4.4	△ 15.9	△ 9.3	△ 4.9	△ 17.9	△ 9.8	△ 14.7	△ 6.9	△ 3.8	△ 4.8
卸売業	△ 16.4	△ 35.8	△ 21.4	△ 22.4	△ 22.8	△ 12.5	△ 8.8	△ 6.5	5.0	0.0
小売業	△ 35.6	△ 57.5	△ 42.9	△ 37.5	△ 18.8	△ 26.8	△ 18.3	△ 7.0	3.7	△ 8.6
不動産業	△ 35.7	△ 18.8	△ 28.6	0.0	△ 10.5	△ 15.4	△ 6.3	0.0	△ 10.0	0.0
サービス業	△ 4.1	△ 50.0	△ 28.3	△ 18.6	△ 2.4	△ 0.6	△ 6.5	△ 4.2	9.1	△ 4.3

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

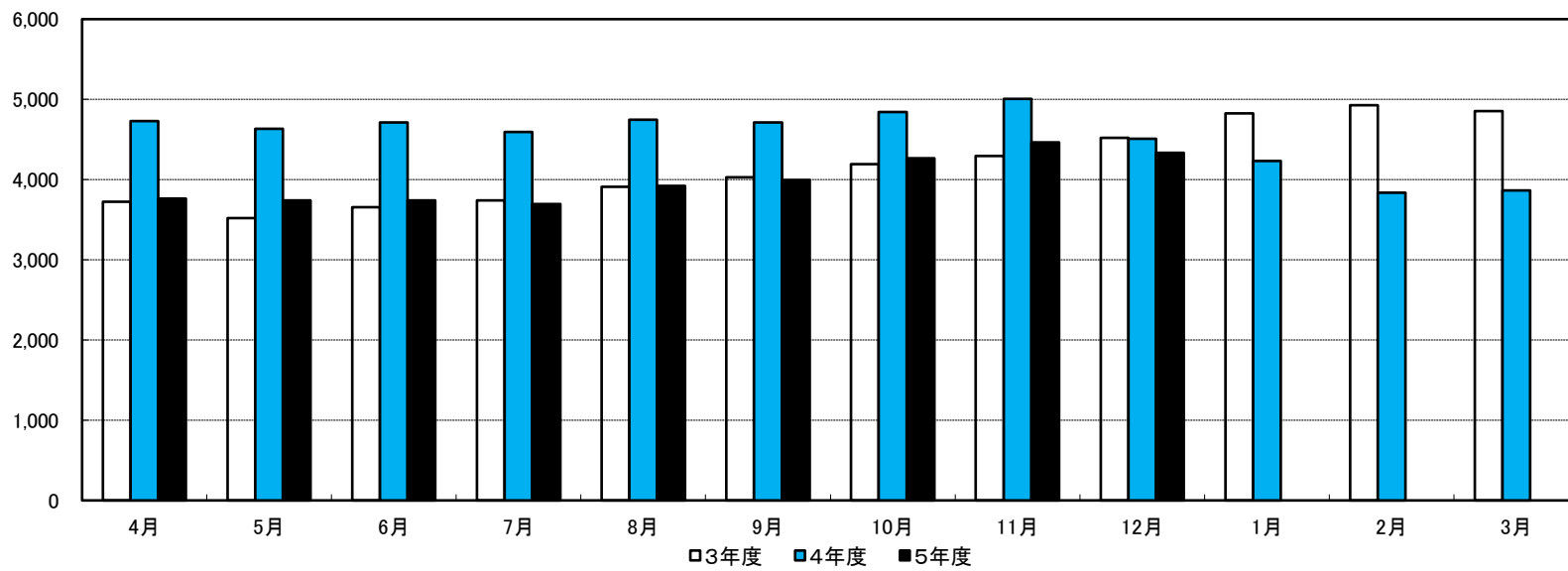
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36	1.39	1.42	1.58	1.58	1.64	1.54	1.37
4年度	1.44	1.42	1.45	1.49	1.55	1.63	1.64	1.74	1.62	1.55	1.40	1.39	1.53
5年度	1.26	1.22	1.23	1.26	1.40	1.50	1.58	1.69	1.69				1.43
対前月(増減)	-0.13	△0.04	+0.01	+0.03	+0.14	+0.1	+0.08	+0.11	0.00				—
対前年(増減)	△0.18	△0.20	△0.22	△0.23	△0.15	△0.13	△0.06	△0.05	+0.07				—

出典：厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

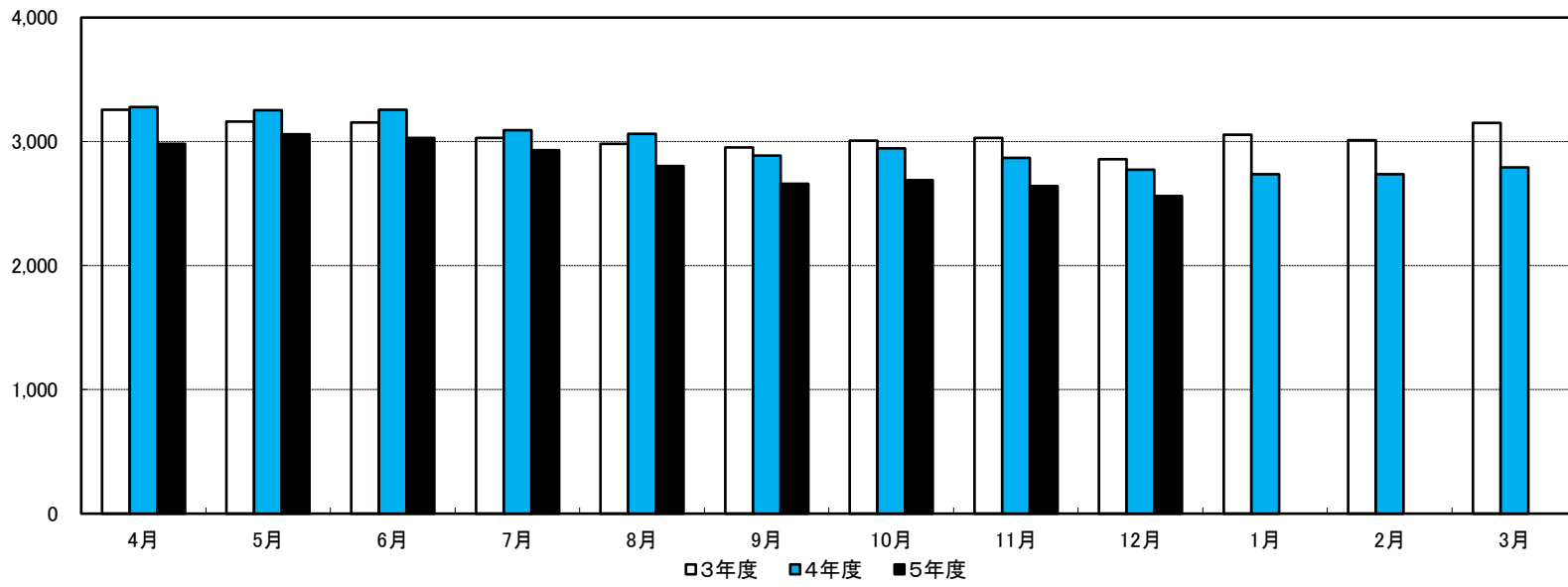
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026	4,195	4,292	4,523	4,825	4,929	4,852	4,183
4年度	4,728	4,634	4,710	4,596	4,744	4,713	4,844	5,008	4,507	4,234	3,838	3,866	4,535
5年度	3,763	3,740	3,739	3,693	3,924	3,992	4,265	4,465	4,331				3,990
前月比(%)	△2.66	△0.61	△0.03	△1.23	+6.26	+1.73	+6.84	+4.69	△3.00				—
前年同月比(%)	△20.41	△19.29	△20.62	△19.65	△17.28	△15.30	△11.95	△10.84	△3.91				—

出典：厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

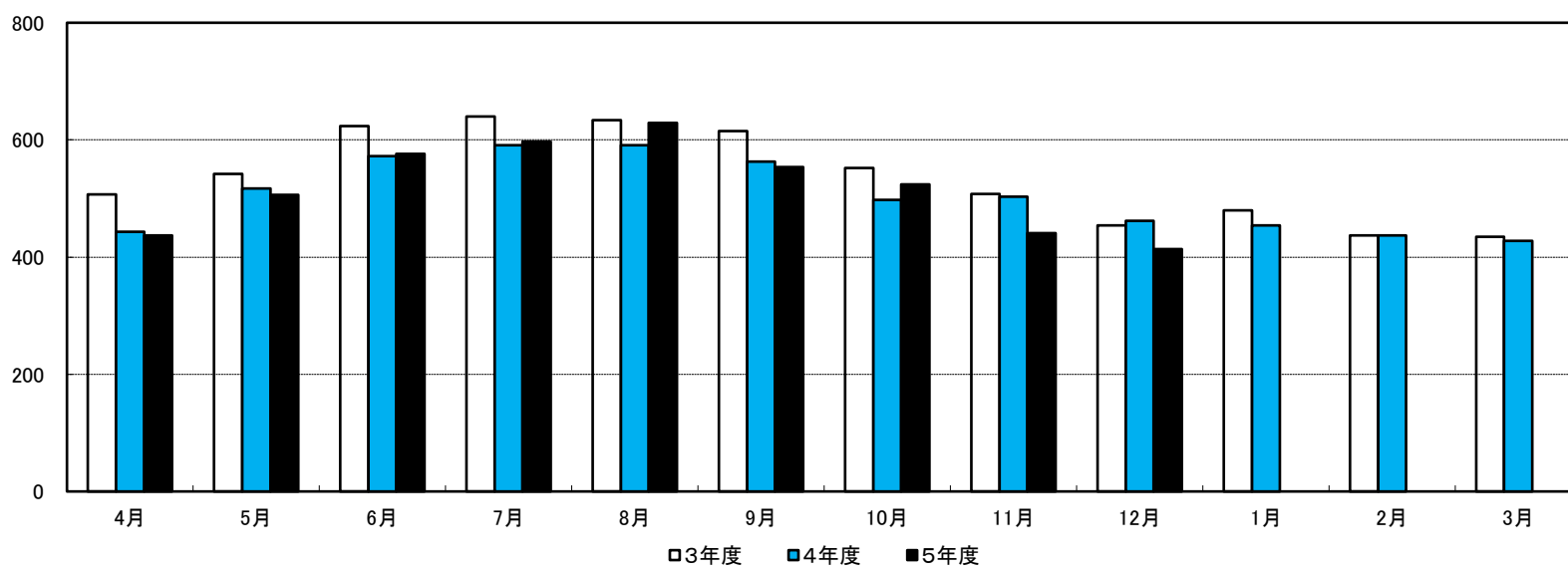
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954	3,008	3,029	2,857	3,057	3,013	3,151	3,054
4年度	3,277	3,252	3,256	3,093	3,061	2,886	2,946	2,870	2,774	2,735	2,737	2,791	2,973
5年度	2,981	3,058	3,030	2,930	2,804	2,659	2,691	2,640	2,562				2,817
前月比(%)	+6.81	+2.58	△0.92	△3.30	△4.30	△5.17	+1.20	△1.90	△2.95				—
前年同月比(%)	△9.03	△5.97	△6.94	△5.27	△8.4	△7.87	△8.66	△8.01	△7.64				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

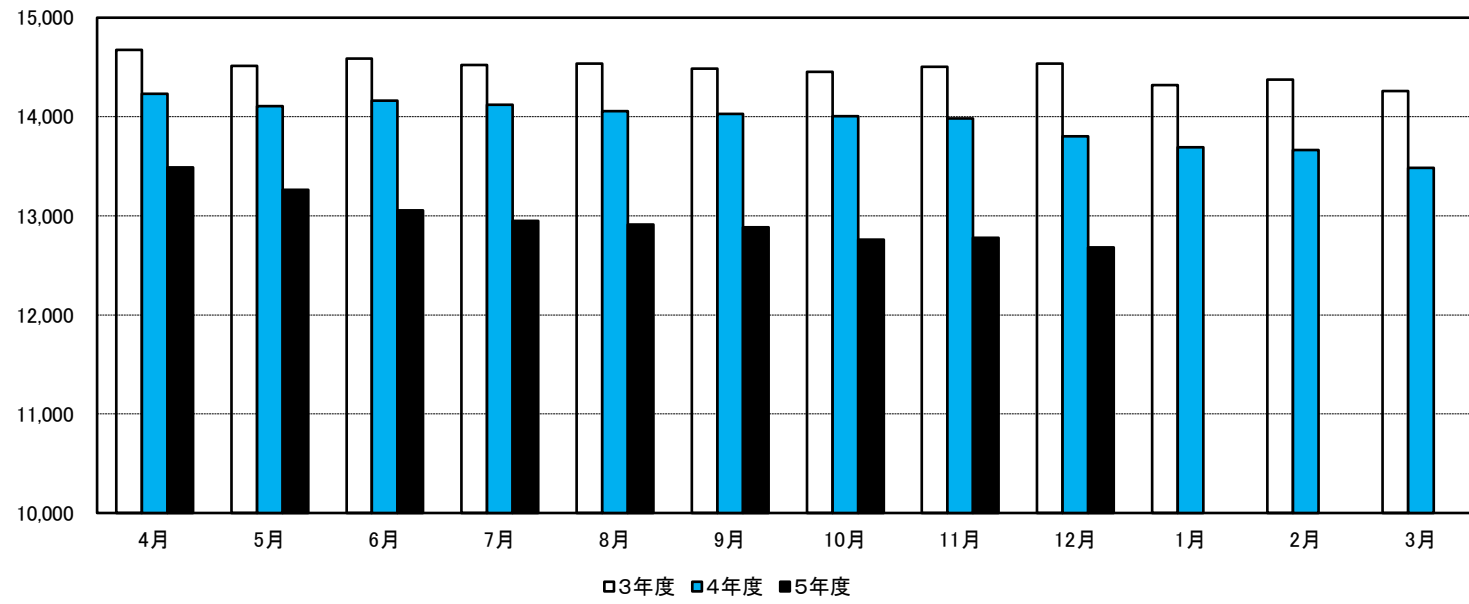


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	507	542	624	640	634	615	552	508	454	480	437	435	536
4年度	443	517	572	591	591	563	498	503	462	454	437	428	505
5年度	437	506	576	597	629	554	524	441	414				520
前月比(%)	+2.10	+15.79	+13.83	+3.65	+5.36	△11.92	△5.42	△15.84	△6.12				—
前年同月比(%)	△1.35	△2.13	+0.70	+1.02	+6.43	△1.60	+5.22	△12.33	△10.39				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

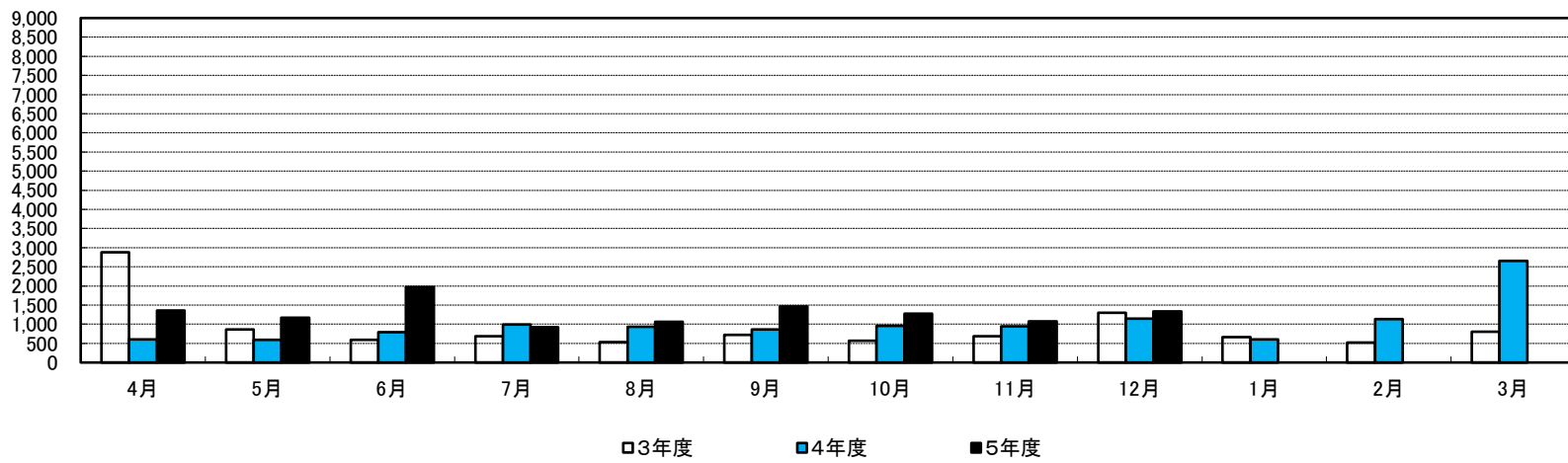
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487	14,454	14,505	14,538	14,320	14,377	14,259	14,482
4年度	14,232	14,108	14,161	14,121	14,055	14,027	14,004	13,981	13,803	13,692	13,665	13,483	13,944
5年度	13,489	13,261	13,057	12,947	12,911	12,884	12,761	12,776	12,682				12,974
前月比(%)	+0.04	△1.69	△1.54	△0.84	△0.28	△0.21	△0.95	+0.12	△0.74				—
前年同月比(%)	△5.22	△6.00	△7.80	△8.31	△8.14	△8.15	△8.88	△8.62	△8.12				—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

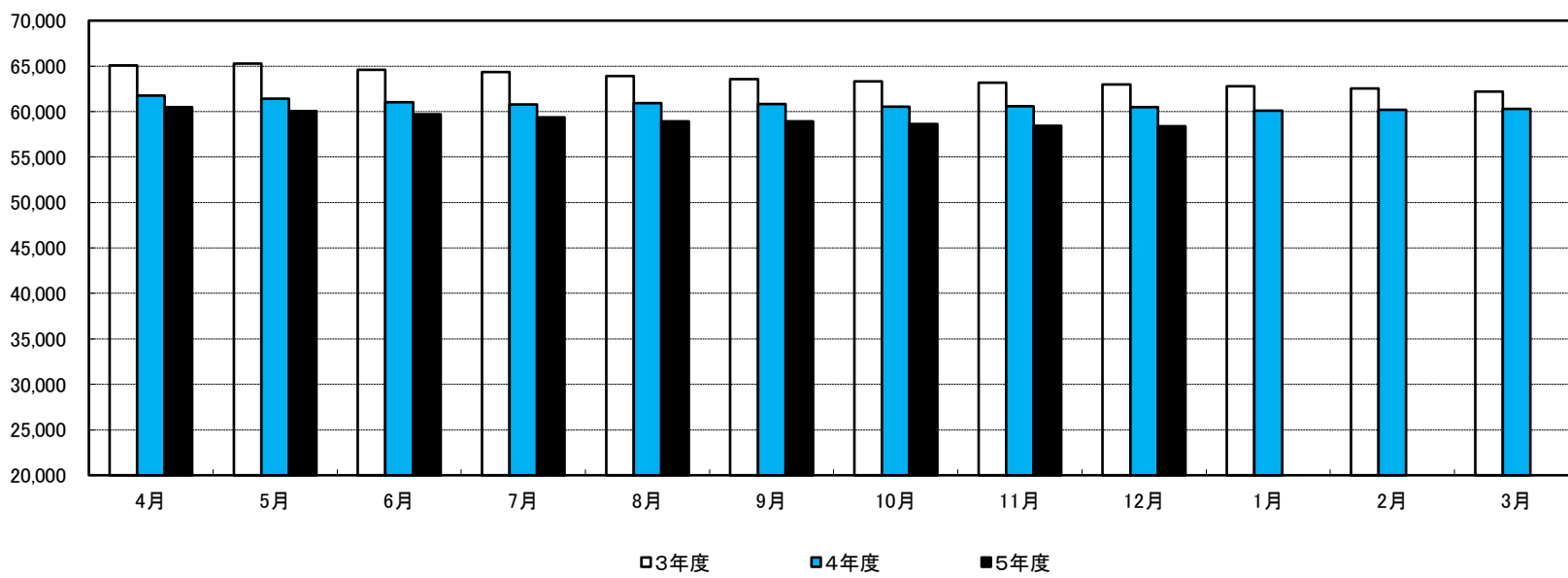
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	2,874	862	588	690	533	716	568	686	1,305	664	519	799	900
4年度	609	595	792	988	930	865	960	945	1,150	606	1,131	2,660	1,019
5年度	1,361	1,166	1,968	926	1,065	1,462	1,273	1,070	1,336				1,292
前月比(%)	△48.83	△14.33	+68.78	△52.95	+15.01	+37.28	△12.93	△15.95	+24.86				—
前年同月比(%)	+123.48	+95.97	+148.48	△6.28	+14.52	+69.02	+32.6	+13.23	+16.17				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

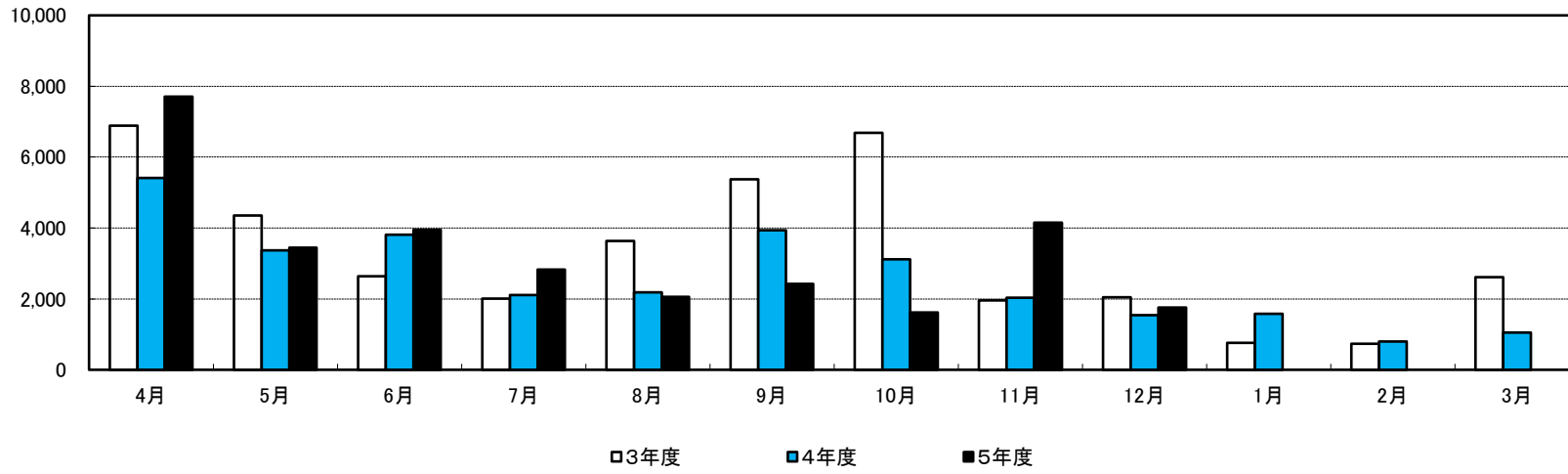


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574	63,322	63,155	62,982	62,799	62,541	62,216	63,648
4年度	61,778	61,432	61,006	60,784	60,928	60,810	60,512	60,591	60,510	60,108	60,175	60,279	60,743
5年度	60,486	60,043	59,702	59,339	58,933	58,912	58,651	58,420	58,365				59,206
前月比(%)	0.34	△0.73	△0.57	△0.61	△0.68	△0.04	△0.44	△0.39	△0.09				—
前年同月比(%)	△2.09	△2.26	△2.14	△2.38	△3.27	△3.12	△3.08	△3.58	△3.54				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

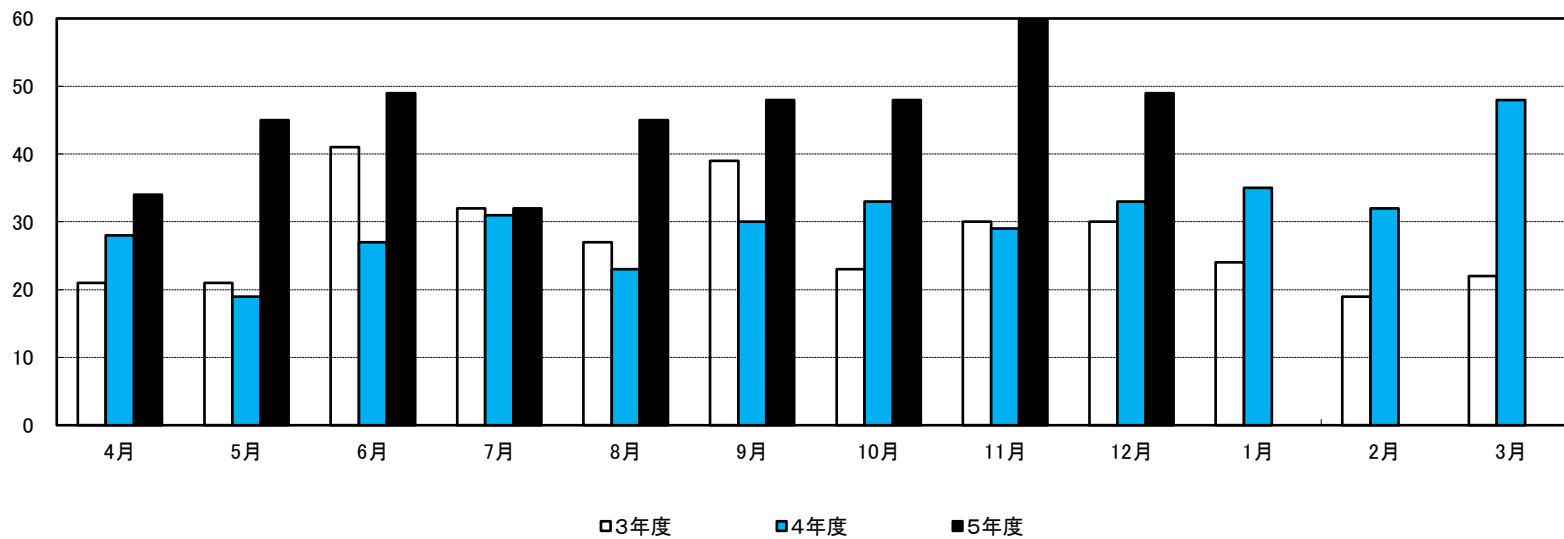


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374	6,683	1,961	2,045	755	739	2,619	3,308
4年度	5,418	3,371	3,812	2,107	2,185	3,933	3,120	2,029	1,547	1,576	793	1,052	2,579
5年度	7,702	3,442	3,954	2,824	2,058	2,429	1,619	4,152	1,751				3,326
前月比 (%)	+632.13	△55.31	+14.88	△28.58	△27.12	+18.03	△33.35	+156.45	△57.83				—
前年同月比 (%)	+42.16	+2.11	+3.73	+34.03	△5.81	△38.24	△48.11	+104.63	+13.19				—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

【参考】 企業倒産(全県)

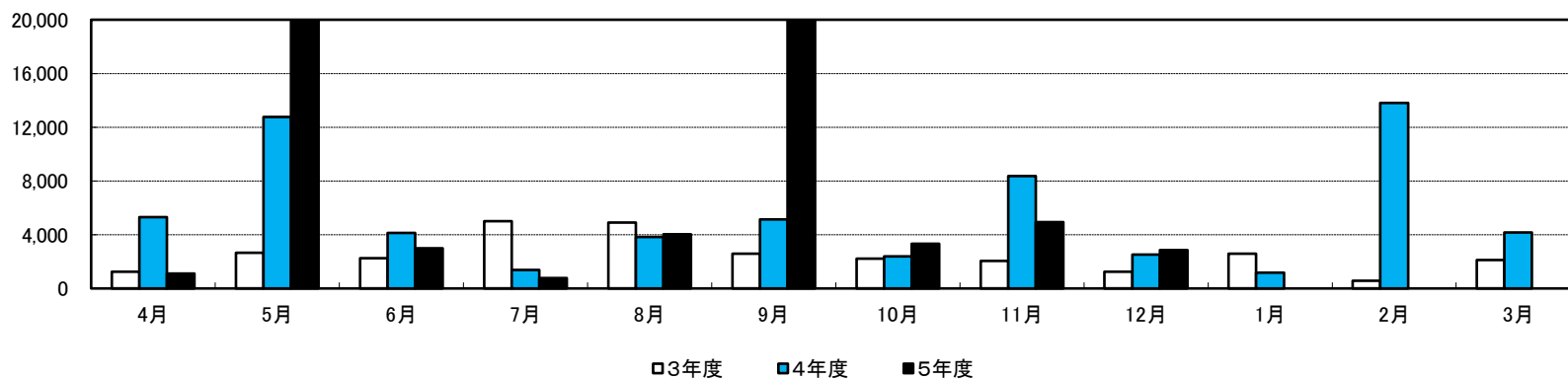
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	21	21	41	32	27	39	23	30	30	24	19	22	329
4年度	28	19	27	31	23	30	33	29	33	35	32	48	368
5年度	34	45	49	32	45	48	48	61	49				411

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

企業倒産負債総額(百万円)

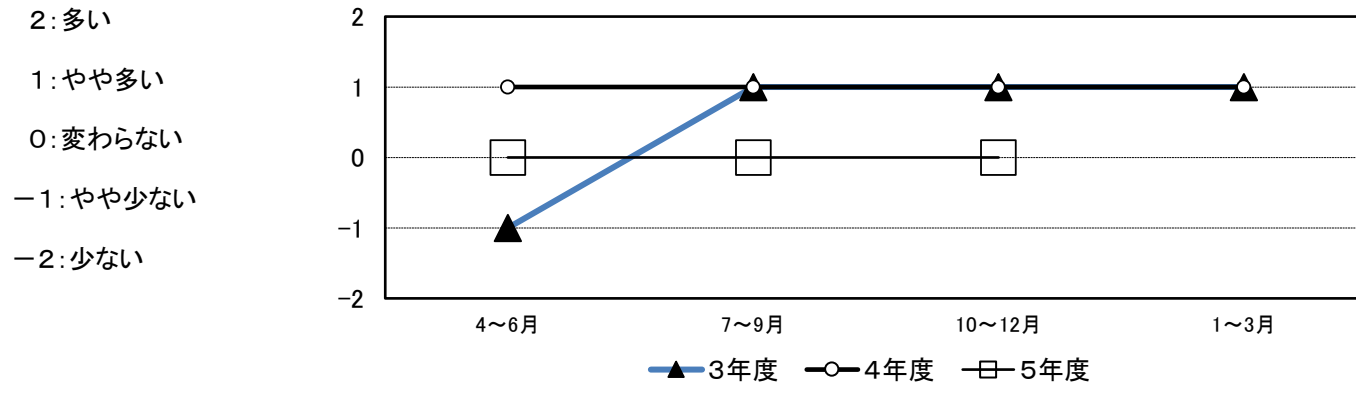


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	1,256	2,661	2,236	5,011	4,891	2,602	2,209	2,063	1,240	2,583	564	2,129	29,445
4年度	5,314	12,765	4,121	1,394	3,815	5,130	2,372	8,351	2,506	1,166	13,817	4,179	64,930
5年度	1,118	63,967	2,976	765	4,020	586,902	3,325	4,949	2,869				670,891

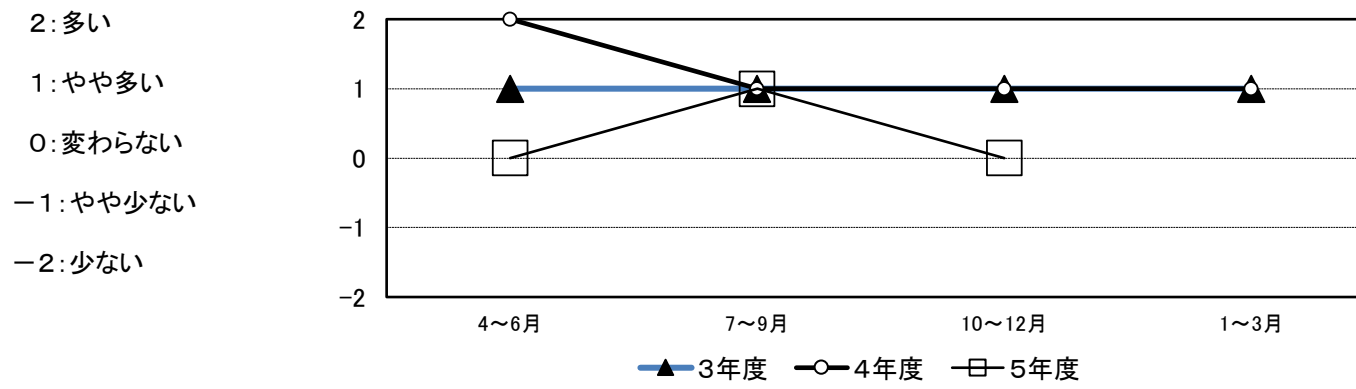
出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

5 地場産業(豊岡かばん)

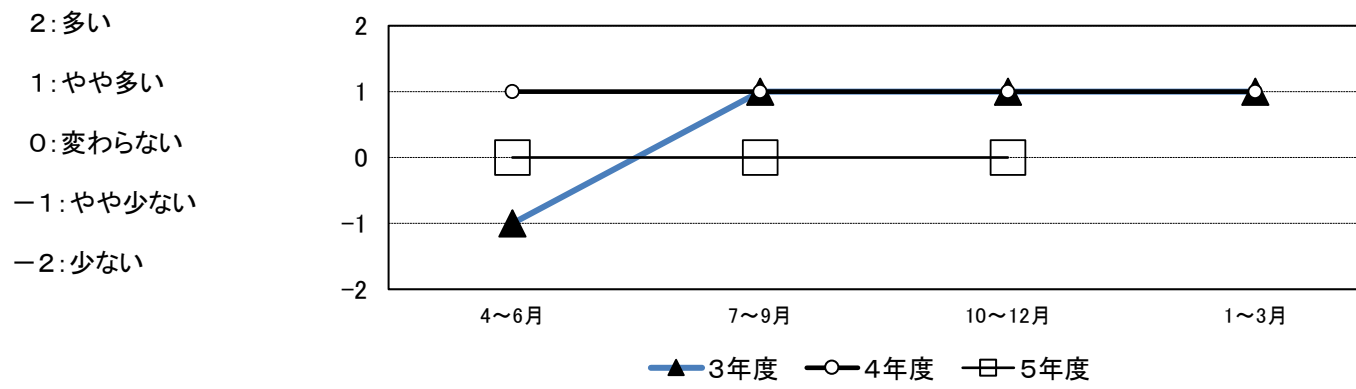
豊岡かばん 売上高 (前期比)



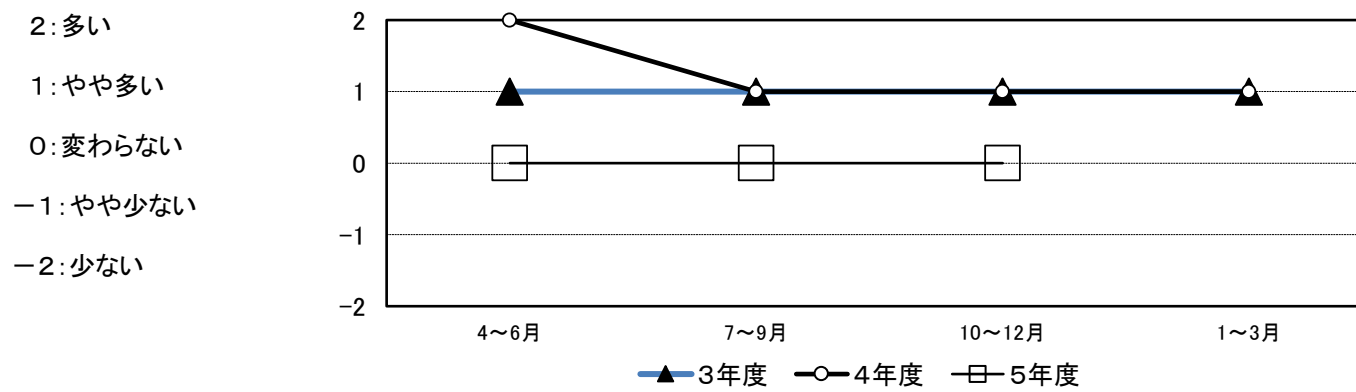
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)



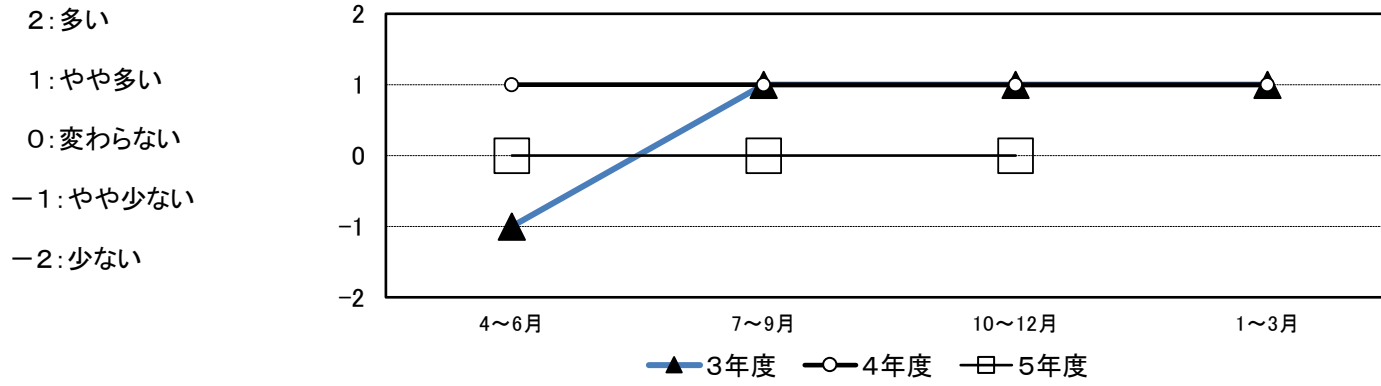
豊岡かばん 生産量 (前期比)



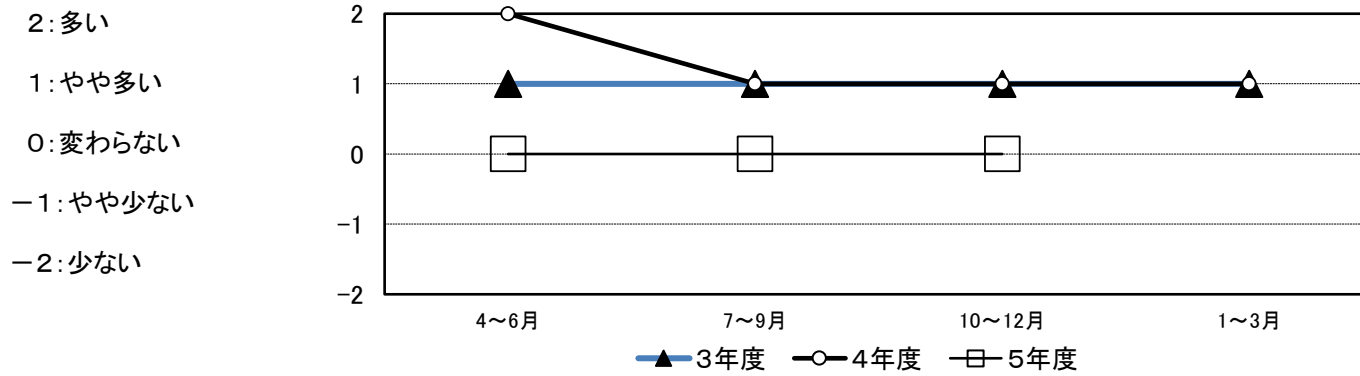
豊岡かばん 生産量 (前年同期比)



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(令和5年7~9月)と比べて売上高、生産量、収益とも変わらず。

前年同期(令和4年10~12月)との比較でも、売上高、生産量、収益とも変わらず。

前期と同様に人の流れも増加し、生産の方は相変わらず人手不足で、納期に追われ、多忙を極めている企業も多い。鞄材料(金具、糸、生地、革など)はコロナ禍前に概ね戻ってきている。OEMの仕事は、かなり好転していたが、大量生産のOEM企業の生産も減少傾向となりはじめた。小売りが思うように伸びず、大手鞄卸企業の在庫量が増えてきたようである。

現在は、サンプル作製後、一段落しており、来年春の繁忙期に仕事があるか不安であるメーカーも多い。一方、材料の高騰や人件費・光熱費など経費が高く、利益は相変わらず厳しい状況である。職人の確保ができれば、生産高もアップできるため、職人、外注の確保が急務である。

10月以降の仕事の目安もあり、経営状況は落ち着いているが、上代のアップの交渉が今後必要である。卸業者は、旅行の増加に伴いキャリーバッグは好調であるが、その他の鞄は伸び悩んでいる。

人手不足を解消するため、2018年に制定された特定技能制度の12職種に、鞄業界、皮革産業を入れ、外国人を5年間受け入れることができるよう、外国人技術認定実習2号追加認定のため、(一社)日本鞄協会を通じて鞄業界全体で取り組むこととなった。

なお、技術認定試験の認定や外国人搬出国の要望書などの関係書類の作成などハードルが高い申請事務があり、引き続き取り組んでいるが難しい状況である。

豊岡鞄協会 回答

6 主要業種の概況

<p>靴卸売業</p>	<p>令和5年7～9月は受注、需要が好調であったが、為替の急激な変動により令和5年10～12月はそれぞれ減少の見込み。原材料調達コストが安定せず、価格転嫁交渉は難航しており、一企業の経営努力だけでは厳しい状況である。今夏、ベースアップと賞与アップの賃金改定を実施したが、社会保険料引上げに伴い、労働者にとっては実質賃金増加を実感しにくい。また、いわゆる「年収130万円の壁」に対する施策は、現場の労働力低下を助長すると危惧する。</p>
<p>宿泊業</p>	<p>景況感が良い。令和5年10～12月期はインバウンドやバスツアー客の増加で売上高、利益は昨年同期比で100.4%増。令和5年10月時点で旅行支援割のあった前年度より売上・利益ともに増加している。地域全体でユニバーサル・ツーリズム推進に取り組み、館内施設のバリアフリー化など利用客の多様なニーズに対応していきたい。特に露天風呂付き客室を有する旅館が他地域より多く、障害者やその家族を対象にモニター宿泊を受け入れている。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和5年10月)」より

<p>食料品製造業</p>	<p>11月の景況感が良い。原材料価格高騰が続き、9月に商品価格改定した。今四半期の売上は前四半期比15%増、利益は同10%減少を見通す。商品価格改定前の駆け込み需要で受注が増加したことが要因と推測する。最近の消費動向としてBtoCの傾向が強い。通販システムの更新などで受注増加に対応していく。生産性向上による処遇改善のため、国の助成金を活用し従業員のキャリア形成支援や自己啓発を積極的に支援している。</p>
<p>娯楽業・宿泊業</p>	<p>景況感が良い。今四半期の売上高・利益は昨年同期比で5%増、前年同期比で10%増となった。宿泊客数はコロナ禍前の9割近くに回復した。原材料価格高騰対策として一部で代替品を使用していたが、代替品も値上げになり、宿泊費やお土産代への価格転嫁を余儀なくされた。設備投資では、国の補助金を活用し一部客室と売店をリニューアルする。雇用関係では採用機会の確保が難しく、地域全体の人手不足がコロナ禍前に比べ深刻化している。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和5年11月)」より

<p>繊維工業</p>	<p>景況感は悪い。直営店やネット通販は好調だが、量販店では売上減少。廉価商品の売上が不調に留まり、今年10～12月の売上高は第2四半期比90%減、利益は同期比95%減となった。原材料価格高騰対策として、価格転嫁を一部で実施したが、追加の価格転嫁については交渉中。生産量も減少見込みのため求人募集していない。コスト削減と工程の自動化を図るため、自社負担の設備投資で製造ラインへ機械を段階的に導入していく。</p>
<p>電気機械器具製造業</p>	<p>景況感は悪い。今年10～12月の売上高は半導体不足が解消傾向にあり、需要が回復していることから第2四半期比で3%増の一方で利益は原油価格高騰、取引国からの受注減少などが重なり前年同期比で大幅減となった。追加の価格転嫁について交渉中。一連の影響で勤務形態見直しや派遣社員削減に踏み切った。正規雇用では、技術系学科卒でも製造部門以外で採用するなど採用募集業種転換も検討し、求職者が応募しやすい環境を整えていきたい。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和5年12月)」より